

# 西表石垣 国立公園

National  
Parks  
of Japan



国立公園とは



国立公園は、日本を代表する自然の風景地として、自然公園法に基づいて国が指定するものです。北は北海道から南は沖縄、小笠原諸島まで34の国立公園が指定されており、年間3億人以上が利用しています。国立公園内は、自然の絶景だけではなく、野生の動植物、歴史文化などの魅力の宝庫です。日本の国立公園は、森林、農地、集落など多様な環境が含まれていることが特長です。ほとんど手つかずの自然が残されているところがある一方で、自然と人の暮らしが織りなす地域の歴史や文化にふれることができます。是非、実際に国立公園を訪れ、四季折々に変化する日本の美しい自然を満喫してください。



特徴

## 原生的な亜熱帯林とサンゴ礁の海

西表石垣国立公園は、日本最南端の国立公園であり、原生状態に近い亜熱帯性常緑広葉樹林やわが国最大規模のマングローブ林、サンゴ礁など、活力に満ちた豊かな自然環境からなる亜熱帯特有の自然景観と、このような自然環境の中で日々育まれてきた伝統が息づく人文景観が特長です。また、大陸との分断と連続を繰り返す中で独自の進化を遂げたイリオモテヤマネコやサキシマカナヘビなどに代表される希少な八重山固有の動植物が多く生息・生育していることも大きな特長です。西表石垣国立公園では、このような亜熱帯の大自然を舞台に、カヤック、シュノーケル、スキューバダイビングなどのマリレジャーのほか、トレッキング、アニマルウォッチング、ドライブなどの陸域のレジャーも盛んに行われており、訪れる公園利用者へ良質な自然とのふれあいの場・機会を提供しています。

【指定年月日】昭和47年5月15日(平成19年8月1日、石垣島地域編入) 【面積】40,653ha(陸域) 81,497ha(海域)  
【関係都道府県】沖縄県



ピナイサラの岬からの眺望



成り立ち

西表石垣国立公園のある八重山地域は、弧状に連なる琉球列島の最南端に位置し、新生代の第三紀(約2,300万年から170万年前)以降の激しい地殻変動により、大陸や日本本土と陸続きになったり離れたりを繰り返してきました。約1,200万年前には大陸と陸続きであったため、この時代にイリオモテヤマネコの祖先を含む多くの生物が大陸から渡ってきたと考えられています。約200万年前には琉球列島は九州に続く北琉球、中琉球、南琉球のブロックに分離しました。このうち西表石垣国立公園のある八重山地域は南琉球に含まれます。約2万~1.5万年前には琉球の島々は大陸と離れ、多くの生物の移動が制限されたため、大陸から移動してきた生物は琉球列島に形成された島々に閉じ込められ、何万年もの長い年月をかけて島ごとに固有な種へと進化していきました。



約1200万年前 約1200~200万年前 約200万年前~現在



文化

八重山地域の大自然は、生活の基盤として人々の暮らしを支えてきました。人々は自然を暮らしの中に積極的に取入れることで、琉球石灰岩の石垣や魚垣などに代表されるような伝統建築や農林漁業、食文化などを育み、またその恵みに感謝し崇める自然観は、民謡や祭事といった文化の根源にもなっています。竹富島をはじめとした伝統的な赤瓦の屋根が続く集落や、海に豊穡を祈願する黒島の豊年祭、西表島の節祭など、人々を魅了する伝統文化が数多く伝承されています。なお、八重山地域の文化は、地域内では一体的な特徴を持ちますが、島ごとや、ひとつの島でも集落ごとに見ると、それぞれの自然や地域性によって様々です。これは文化が島々を架け橋として伝搬されたためであり、八重山地域の文化が持つ魅力のひとつになっています。



西表島の水田(奥原)



西表島の集落(垣納)

豊年祭(黒島)

種取祭(竹富島)



取り組み

## 外来生物対策

八重山地域にも、多くの外来種が侵入しており、在来の生態系への影響が懸念されています。環境省では特定外来生物に指定されているオオヒキガエルやシロアゴガエル等をはじめ、緊急対策種であるアメリカハマグリマ等の防除、拡散防止に努めています。西表石垣国立公園では、イリオモテヤマネコやカムリワシなどの希少な野生生物の保護対策として、島速度(時速40km以下)での運転を呼びかけるなどの交通事故防止対策をはじめ、傷病個体の救護、生態調査、生息状況モニタリングなどを関係機関・団体と連携して実施しています。



島速度のマグネット



オオヒキガエル

シロアゴガエル



イリオモテヤマネコの救護

カムリワシの救護

ヤマネコ注意看板



植  
物

動  
物

生  
態  
系



## 連絡先一覧

沖縄奄美自然環境事務所  
〒900-0022 沖縄県那覇市樋川1-15-15  
那覇第一地方合同庁舎1階  
| TEL | 098-836-6400 | FAX | 098-836-6401  
| URL | <http://kyushu.env.go.jp/naha/>

石垣自然保護官事務所  
(国際サンゴ礁研究・モニタリングセンター内)  
〒907-0011 沖縄県石垣市八島町2-27  
| TEL | 0980-82-4768 | FAX | 0980-82-0279  
| URL | <http://kyushu.env.go.jp/naha/coremoc/>

西表自然保護官事務所  
(西表野生生物保護センター内)  
〒907-1432 沖縄県八重郡竹富町古見  
| TEL | 0980-84-7130 | FAX | 0980-85-5882  
| URL | <http://iwcc.a.la9.jp/>

西表石垣国立公園サイト  
<http://www.env.go.jp/park/iriomote/>



傷ついたり死んでいるカムリワシやイリオモテヤマネコを見つけたら、下記連絡先までお電話下さい。  
石垣島：環境省石垣自然保護官事務所 | TEL | 0980-82-4768  
西表島：環境省西表野生生物保護センター | TEL | 0980-84-7130

火山情報をご確認ください  
[https://www.jma.go.jp/jp/volcano/map\\_6.html](https://www.jma.go.jp/jp/volcano/map_6.html)



発行者：環境省  
発行年：2018年

※ 見どころ案内マップは、指定区域の概要を示すために作成したものであり、誤差があることを考慮した上でご利用ください。

## 植物

西表石垣国立公園にはヤエヤマカンアオイやイリオモテガヤなどの西表島だけに生育する固有種に加え、石垣島と西表島のものに生育するヤエヤマヤシ、サキシマツツジなどの固有種のほか、西表島を分布の北限とするサキシマハブカズラ、ナンバンカモメランなどが生育しています。また、河口や沿岸などの淡水と海水が混じる汽水域には八重山の風景を代表するマングローブ林が広がります。国の天然記念物に指定されている貴重な植物群落も多く、石垣島では米原のヤエヤマヤシ群落、荒川のカンヒザクラ自生地などが見られ、西表島では船浦のニッパヤシ群落、古見のサキシマスオウノキ群落などが広がります。



ワミシヨウブ



サガリバナ

サキシマスオウノキ

ニッパヤシ

## 動物

八重山諸島は沖縄本島と約300kmの距離と海で隔てられていることから、同じ県であるにもかかわらず沖縄本島とは大きく異なる、独自の動物相が形成されています。また八重山諸島内においても、島ごとに独自の成り立ちと歴史を持つため、生息する動物が少しずつ異なります。西表石垣国立公園には、イリオモテヤマネコやキシノウエトカゲなど八重山諸島だけに生息する固有種や固有亜種に加え、カムリワシやヤエヤマセマルハコガメなど八重山諸島を分布北限とする種も多く生息しています。また八重山諸島の砂浜の多くは、ウミガメ類の重要な産卵場所となっています。



イリオモテヤマネコ

カムリワシ



キシノウエトカゲ

ヤエヤマセマルハコガメ

## サンゴ礁

石垣島と西表島の間には、日本最大のサンゴ礁海域である石西礁湖が広がります。サンゴの分布の北限近くに位置しますが、黒潮の影響を受け豊かなサンゴ群集が発達し、サンゴ礁生態系の多様性も国内一です。360種類以上の造礁サンゴ(イシサンゴ目)が確認されており、サンゴ群集の多様性は世界最大のサンゴ礁海域であるグレートバリアリーフに匹敵します。

## 自然再生事業

1970年代後半からのオニヒトデの大発生や頻発する白化現象、赤土や生活排水といった陸域からの環境負荷などにより、石西礁湖のサンゴ群集は大きく衰退しています。八重山地域では、行政機関、漁業・観光関係団体、研究機関などが連携して「石西礁湖自然再生協議会」を設立し、調査・モニタリングやサンゴ群集の修復、普及啓発など様々な保全活動を展開しています。



石西礁湖のサンゴの海

サンゴウモンタ

自然再生事業

サンゴ群集修復による移植サンゴの産卵

地域主体によるオニヒトデの駆除活動

## 生態系

西表石垣国立公園の生態系の特長は、海・川・山の連続性にあります。イタジイやオキナワラジロガシなどの照葉樹林からなる森林生態系、オヒルギやヤエヤマヒルギなどマングローブ林からなるマングローブ生態系、アダンやオオハマボウなどの海岸林からなる海岸生態系、多種多様な造礁サンゴ類からなるサンゴ礁生態系など、多様な生態系が水や物質循環を通じて密接に関連しており、それぞれが連続性をもって豊かな自然環境を作りだしています。このことは、西表島がヤマネコの生息する世界最小の島として知られていることから明らかに、西表石垣国立公園の生物多様性の豊かさを表しています。



亜熱帯林(ヒナイ川上流)



マングローブ林(後良川)

## 国立公園の利用上のマナー

多くの方に楽しく利用していただくために、国立公園内では自然を大切にすることを心がけ、次のことを守ってください。

- ゴミを捨てないでください
- 花や植物を採らないでください
- 野生動物に餌を与えないでください
- 動物を獲らないでください
- 歩行中禁煙
- たき火は指定の場所で行いましょう
- 熱帯魚やサンゴを獲らないでください
- 雨天時・土砂崩れに注意
- 鳥の生き物にやさしい運転をしましょう
- 外来生物を持ち込まないようにしましょう
- ハブなどの危険生物に注意
- 高波・波浪・強風に注意(潮位の変化に注意)
- フィンやマリンスーツで生きているサンゴを傷つけないようにしましょう



日本最南端の有人島で、昔ながらの家並みとサトウキビ畑が広がります。北西部の北浜は、真っ白な砂浜と透き通った海が美しくシュノーケリングの人気スポットです。



船浮集落西側にあるとても美しい海岸で海水浴を楽しむことができます。船浮集落へは白浜港から定期船がでています。



「日本滝100選」に選ばれた美しい滝です。遊覧船やカヌーで浦内川上流の軍艦岩船着場まで行き、亜熱帯林の遊歩道を40分ほど歩いた展望台からこの滝が望めます。



沖縄県最大の落差(55m)を誇り亜熱帯照葉樹林の中に荒々しい岩肌を見せるこの滝は、西表島の代表的な景観です。船浦の海中道路から望むこともできます。



河口から中流部にかけての河岸には日本最大規模のマングロープ林が広がっており、遊覧船やカヌーに乗りながら鑑賞することができます。



八重山のほぼ中央に位置する島で、赤瓦の民家が残る集落やサトウキビ畑、マングロープ群落などの多彩な風景が凝縮されており、沖縄らしさをゆったりと満喫できます。



ハート型の島で約3,000頭の牛が放牧され、のどかな牧場風景が特長です。仲本海岸はシュノーケリングの人気スポットで、黒島研究所ではウミガメを近くでみるができます。



小さな隆起サンゴ礁の島で沖縄特有の街並みが保存されており、重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。サイクリングでの島内散策がおすすめです。



名蔵川河口に広がる約160haの大きなマングロープ湿地で、ラムサール条約に登録されています。特に渡り鳥にとって重要な中継地として利用され、野鳥観察に多くの方が訪れています。



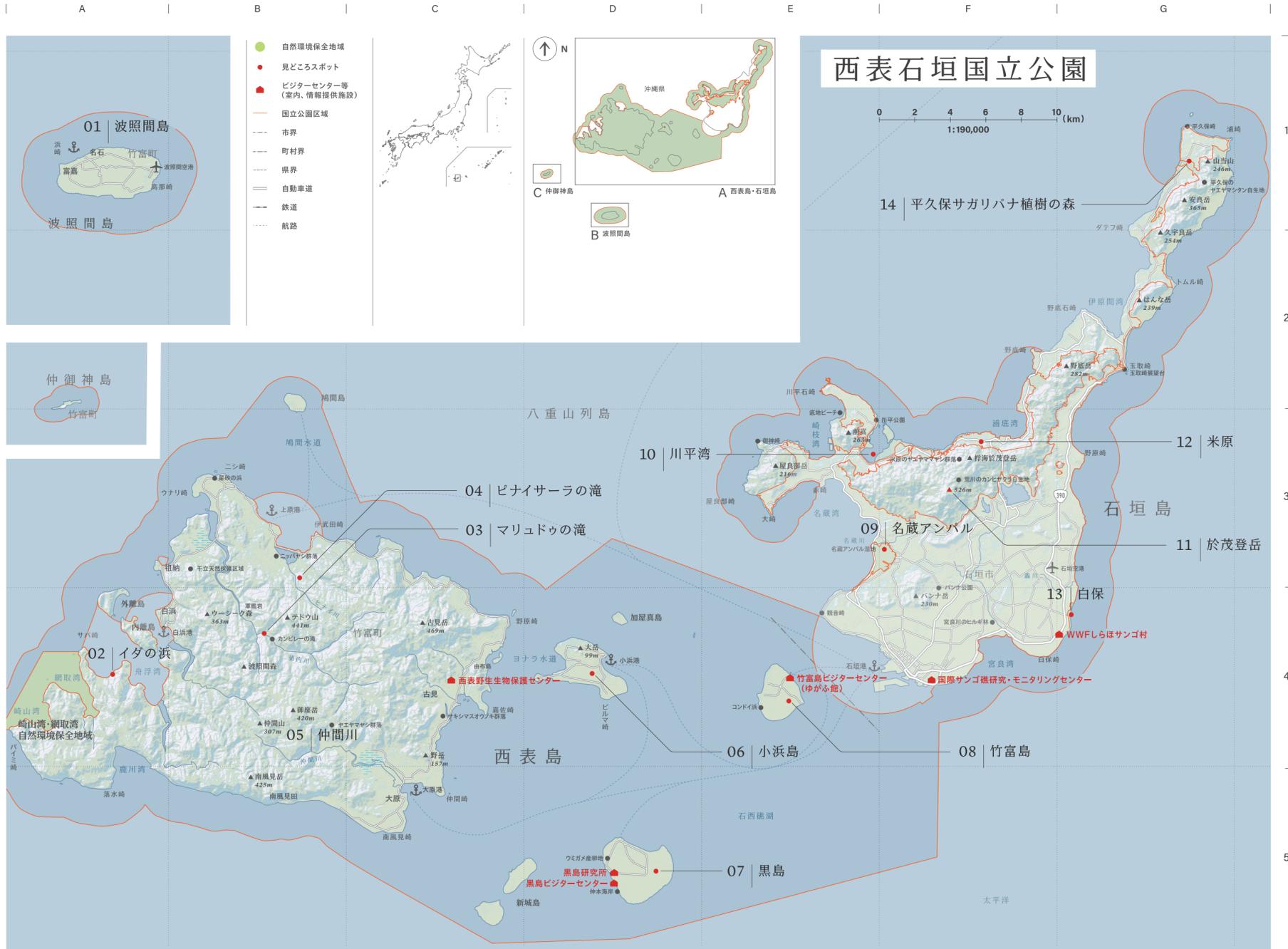
川平湾は、紺碧の海、白い砂浜、散在する小島の風景が素晴らしい石垣島唯一の景勝地です。グラスボートにより美しい海中景観も楽しめます。



沖縄県の最高峰であり、1時間あまりで山頂まで登ることが出来ます。頂上からは、於茂登連山や石垣島周辺の美しいサンゴ礁の海を眺望することができます。



ヤエヤマシは石垣島と西表島のみに生育する八重山諸島の固有種で、「米原のヤエヤマシ群落」として国指定天然記念物にもなっています。林内には整備した木道があり散策することが出来ます。



※詳細な区域確認等に当たっては、担当の環境省自然保護官事務所等にお問い合わせください。



北半球で最大規模のアオサンゴ群落があり、1988年にはIUCNが、守るべき世界的な財産として決議しています。シュノーケリングやグラスボートにより美しい海中景観を楽しめます。



地域住民の保全活動により育まれた平久保川下流に広がるサガリバナの森。6-7月の一斉開花期の夜には満天の星空とともに神秘的で美しい一夜花を楽しめます。

Information 施設案内



国際サンゴ礁研究・モニタリングセンター  
〒907-0011  
沖縄県石垣市八島町2-27  
TEL] 0980-82-4768  
[URL] http://kyushu.env.go.jp/naha/coremc/  
サンゴ礁生態系のモニタリング調査、サンゴ礁に関する情報収集・提供などを実施している施設です。



黒島ビジターセンター  
〒907-1311  
沖縄県八重山郡竹富町字黒島1  
TEL] 0980-85-4149  
竹富町の文化財指定地である「番所跡」に建てられており、黒島の自然や民俗資料について分かり易く展示されています。



竹富島ビジターセンター「ゆがふ館」  
〒907-1011  
沖縄県八重山郡竹富町字竹富2350  
TEL] 0980-85-2488  
[URL] http://www.takatomijima.jp/  
竹富島の自然と伝統文化を紹介する施設として、竹富島を訪れる皆様に竹富島の初の情報を提供しています。



西表野生生物保護センター  
〒907-1432  
沖縄県八重山郡竹富町字古見  
TEL] 0980-85-5581  
[URL] http://iwcc.a.la9.jp/  
西表島に生息する希少野生生物や西表島固有の生態系について展示しています。イリオモテヤマネコの子猫も見られます

※開館時間などについて詳しくは各施設にお問い合わせください。

Access 交通アクセス

羽田空港		
	飛行機	約170分
石垣空港		
	路線バス	約40分
石垣港離島ターミナル		
竹富島 竹富港	黒島 黒島港	西表島 大原港
高速艇	高速艇	高速艇
約10分	約25分	約35分

※アクセスルートは一例です。各区間の所要時間は目安です。詳しくは各交通機関の窓口・ホームページなどでご確認ください。